

明るく力強い社会にしよう

育成会長 秋田 安弘

指導者、ご父兄、賛助会員、その他大勢の皆様のご尽力で、横浜100団が発団25周年を迎えることができます。省みて私は、イベントにときどき顔を出す、自分の楽しみでキャンプに参加して汗を流すといったことで、なんの役割も果たさず、精神的なサポートしかできていません。まあ格好良く言うなら、「ビジョン作りに参加して、皆さんに実行して頂く」ことで未だ少しは社会の役に立てるかなあと考えています。

横浜100団の21世紀戦略は、これまでの25周年を礎にした「人づくり」ではないでしょうか。ますます「自分でものを考えて行動する」、つまり自分の行動に対して、社会に責任をもてる人が求められます。自己責任です、そこで：

横浜100団の使命は：

アウトドアの活動を通じて、地域の青少年に「社会に参加する責任を認識すること」「個人の適性を育てること」のできる人格を形成する

ことですが、指導者の皆様はもう当然のこのように活動されていて本当に、心強く感じています。スカウト活動を支援するボランティア・プログラムに、ご父兄の皆様も快く参加して頂けることは横浜100団の大きな財産だと思っています。

「社会に参加する責任」を考えてみましょう。人間は一人で生活できません。他人と交わることは、責任を伴うのです。自分が相手に働きかけ、相手もこちらに働きかけてきます。何かの行動を伴えばその周りの人々……つまり社会に対して結果責任を持たなければなりません。社会生活にコミュニケーションは欠かせません。コミュニケーションを別の面から考えてみましょう。

人が話をするときには声を出します。声は空気の振動として伝わってきます。聴く人の鼓膜が共振して始めて声が伝わります。話す人の声帯と聴く人の鼓膜が共振するわけです。

ところが人間は、自分に都合の良いことしか聞こえないものです。この場合は物理的な振動が心に伝わらないのでしょうか。

ところで、人の心と心あるいは自然と心が共振すると「感動」があります。人の声にいつでも自分の鼓膜を共振させること、鼓膜が共振したら心も共振させる方法を学ぶことができれば素晴らしい人格を形成できるのではないのでしょうか。

世界中の人々と心を共振させるには、人それぞれの適性に応じた役割があることを知ることです。学歴や持っているお金の額は心を共振させる能力と全く違うものです。横浜100団が心を共振させる方法を学ぶ場所になれば良いと思います。